

High-performance Embedded Workshop V.3.01.05 への リビジョンアップのお知らせ

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop を V.3.01.05 にリビジョンアップしました。

1. 該当製品

High-performance Embedded Workshopは以下の製品に含まれています。

- (1) SuperH RISC engine C/C++コンパイラパッケージ
R0C40700XSW08R
P0700CAS7-MWR
- (2) H8SX,H8S,H8ファミリH8S,およびH8/300シリーズ C/C++コンパイラパッケージ
R0C40008XSW06R
PS008CAS5-MWR
- (3) M32Rファミリ用Cコンパイラパッケージ
M3T-CC32R V.4.20 Release 1 および V.4.20 Release 1A
- (4) M32C/80, M16C/80 および M16C/70シリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC308WA V.5.20 Release 1
- (5) M16C/60, M16C/30, M16C/Tiny, M16C/20, M16C/10 および
R8C/Tinyシリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC30WA V.5.20 Release 1 および V.5.30 Release 1
- (6) R8C/Tinyシリーズ用Cコンパイラパッケージ (専用無償版)
M3T-NC30WA V.5.20 Release 1 (*)
M3T-NC8C V.5.30 Release 1
* 2004年4月1日から、製品名をM3T-NC30WAからM3T-NC8Cに変更しています。
- (7) E10A-USBエミュレータ
HS0005KCU01H
HS0005KCU02H
- (8) E7エミュレータ
HS0007TCU01H
- (9) E6000Hエミュレータ

HS7058EPH60H 他

(10) E6000エミュレータ
HS3664EPI62H 他

(11) E10Aエミュレータ
HS7705KCM02H
HS7729RKCM02H
HS7750RKCM01H
HS2378KCM01H 他

(12) E10Tエミュレータ
HS3048BTCM01H
HS3048BTCI01H 他

(13) E200Fエミュレータ
R0E0200F0EMU00
R0E0200F0ETU00
R0E0200F0EPU00

※ 該当製品型名は、High-performance Embedded Workshop3対応製品にも掲載しておりますのでご参照ください。

2. リビジョンアップ内容

2.1 機能改善

(1) Makeファイルの生成機能

ソースファイルからのインクルードファイルのネストレベルが10レベル以下の場合、インクルードファイルのディレクトリ情報が、相対パスでMakeファイルに出力されていましたが、相対パスで出力されるネストレベルを10から50レベル以下へ拡張しました。

* 51レベル以上の場合は絶対パスで出力されます。

2.2 High-performance Embedded Workshopを含む製品のインストールに関する問題の改修
コンパイラパッケージ製品をインストール後、一度もHigh-performance Embedded Workshopを起動せずにE7エミュレータソフトウェア製品をインストールすると、プロジェクトタイプリストボックスにビルド用のプロジェクトタイプが表示されない問題を改修しました。

詳細はHigh-performance Embedded Workshop3に現存する問題をご覧ください。

2.3 その他の改修内容

次の問題を改修しました。

- (1) ソースファイルに日本語のコメントが含まれる場合、Navigation ウィンドウからエディタウィンドウに表示されているソースファイルの宣言行または定義行へジャンプすると、実際の宣言行または定義行より後方の行にジャンプすることがある。
- (2) ナビゲーション機能が有効になっている状態で、アセンブラで書かれたソースファイルを含むプロジェクトをオープンすると、ナビゲーション機能の自動解析作業が終了しない。
詳細は2004年7月16日発行のRENESAS TOOL NEWS "High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い--ナビゲーション機能について--"を参照してください。
- (3) E10A、E10A-USB、またはE200Fエミュレータを使用している場合に、「分岐トレース」ダイアログボックス(*)でソース補間機能を「許可」にするラジオボタンをONにしてOKボタンをクリックすると、プログレスダイアログボックスが表示される途中でアプリケーションエラーが発生する。
* トレースウィンドウ上で右クリックしてポップアップメニューを開き「分岐トレース」コマンドを選択すると表示されます。
- (4) E10A、E10A-USB、またはE200Fエミュレータを使用している場合に、「分岐トレース」ダイアログボックスでソース補間の「許可」ラジオボタンをONにしてOKボタンをクリックして、トレースウィンドウのトレース情報をダブルクリック（ソース行へのジャンプ機能を実行）したときに、アプリケーションエラーが発生する。
- (5) E200Fエミュレータを使用する際「トレースウィンドウの選択」ダイアログボックスのトレースウィンドウリストボックスから「BUS/MFI trace」を選択した場合、アプリケーションエラーが発生する。
補足：
一度、トレースウィンドウリストボックスから「Internal/AUD/User memory trace」を選択した後、「BUS/MFI trace」を選択した場合は発生しません。
- (6) E200Fエミュレータを使用している場合に、「分岐トレース」ダイアログボックスでソース補間の「許可」ラジオボタンをONにしてOKボタンをクリックするとプログレスダイアログボックスが表示された後、トレースウィンドウに補間されたトレース情報が表示される際に「Timestamp difference」カラムにソースカラムの内容が表示される。

3. 入手方法とインストール手順

- (1) こちらのページから、hewv3151u.exeをダウンロードする。
- (2) ダウンロードしたhewv3151u.exeを実行する。

4. 注意事項

- (1) High-performance Embedded Workshop V.2.2以上がインストールされていない場合、High-performance Embedded Workshop V.3.01.05へはリビジョンアップされません。
- (2) High-performance Embedded Workshop以外のコンポーネント（Cコンパイラ等）はリビジョンアップされません。
- (3) P0700CAS7-MWR（SuperH RISC engine C/C++コンパイラパッケージ）は、V.7.1.03、もしくはV.7.1.04へアップデートしてから、High-performance Embedded Workshopをリビジョンアップしてください。
PS008CAS5-MWR（H8SX,H8S,H8ファミリH8S,およびH8/300シリーズC/C++コンパイラパッケージ）は、V.5.0.05、もしくはV.5.0.06へアップデートしてから、High-performance Embedded Workshopをリビジョンアップしてください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。